

チャリティーランに出場しました

神戸 YMCA 高等学院・職員
横山徹太郎氏

11月3日、第18回神戸YMCA国際チャリティラン2015に、スポーツ部の生徒たちが参加しました。

YMCA国際チャリティランは、集まった支援金で「日本中の障がいのある子どもたちがYMCAの夏のキャンプに参加できるように！」との願いから、1983年に東京で始められた大会です。

今年も、参加232チーム、ランナー1036名、ボランティア182名、その他来場者約400名、計1,600名あまりの人々が、会場・しあわせの村に集いました。

グループランに出場したスポーツ部の生徒たちは、思い思いの仮装で走りました。生徒たちのコスチュームは、なかなかのクオリティーで、みんな楽しみながら参加しました。走らなくても・走れなくても、寄付を、自分とは別のランナーに託すというかたち（フレッチ制度）で、生徒たちの大会参加費は神戸学園都市ワイズメンズクラブの方々に支援していただきました。

ワイズメンズクラブとは、青少年の健全な育成を目的とするYMCAの活動を支援する奉仕クラブです。

生徒たちはレース後、ワイズメンズクラブが行う「餅つき」を、感謝の気持ちをこめてお手伝いしました。ひとりひとり様々な事情を持って入学してきた、YMCAで「自分の居場所を見つけた」生徒たちが、ワイズメンズクラブの方々の思いを背負って走りました。今までにない経験ができ、充実した1日を過ごしました。

ありがとうございました！！

